



みどり

第3号 令和8年6月5日



目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子

【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

<目指す児童像:思いやる子(豊かな心の育成)を目指して ～みんなが笑顔～>

いじめ防止強調月間 下野市では6月と11月の年2回「**下野市いじめ防止強調月間**」を設定しています。これは、市の基本理念の下「『いじめで苦しむ児童生徒ゼロ』を目指して、市内小中学校でいじめ対策への取組をこれまで以上に充実させる」というものです。第二中学区は「①いじめは絶対ダメ!の再確認をしよう。」「②いじめを生まない温かい学校の雰囲気高めよう。」の共通認識の下、今年度も全ての学級で「学級力アンケート」を実施し、子供たちから出された「学級の良いところ」に目を向けた話し合いを行う予定にしています。また、三年前から二中学区共通のいじめ防止スローガン「**お互いの個性を認め合い 笑顔の花を咲かせよう**」も三校合同の子ども未来プロジェクト会議の中で決定しています。どの学校でもいつでも見られるように掲示されています。

さらに、6月には教育相談期間を設定し、担任が一人一人と、今の学校生活の様子を話したり、悩みや不安を安心して相談したりできる時間を作っています。今年度も担任はもちろんですが、他にも自分が話したい相談したい先生と相談できる時間も作れるようにしています。限られた時間での面談になるため、事前に学校生活に関するアンケートを取って少しでも話しやすくなるように工夫しています。

また、強調月間前の5月下旬には人権週間(5/20～26)を設定し、人権擁護員の方に来ていただいて人権集会を実施し、人権の花をいただき、6年生代表児童と一緒に「いじめのない学級学校をつくるため」の話し合いをし、全校児童で参観し一緒に考えました。そこでの内容も踏まえて、各クラスで道徳や学級活動の時間を使って人権について知ったり意見を交わしたりしました。他にも放送委員会の協力で当番さんのリレー形式で給食の時間に人権についてのお話をしてもらったりもしました。この強調月間を通して、子供たちに「自分の存在がかけがえのないものであること」「いじめは絶対にあってはならないこと」「自分がされて嫌なことや見て見ぬ振りには絶対にしてはならない。気付いたらその場で行動する勇気をもつ」ことが伝わっていたらと願っています。

子供たちが互いに関わりながら生活している中では、気持ちの行き違いなどから悲しい思いをしたりさせたりすることもあると思います。お友だちのことで悩んだり心を痛めたりすることもあると思います。ただ、常に「いじめゼロ」を目指して、根気強く、指導を続けてまいります。また、いじめが発生した場合は、早期解決に努めます。何か、お気づきの点、ご心配な点がありましたら、いつでも学校にご連絡ください。この強調月間に限らず、年間を通じ、いじめの未然防止に向け指導を重ね、授業や活動を通して豊かな心を育みながら「いじめは絶対に許さない」という思いを子供たち自身が持ち続けられるようにしていきたいと考えています。ご家庭でも、この月間に合わせて、みんなと仲良く安心して学校生活を過ごすことについて話題にさせていただきますと幸いです。

ブロックチーム制推進中

4月の学校だよりや懇談会の冒頭でお知らせした通り、今年度もブロックチーム制をそれぞれのブロックの



できることから子供たちにとっても無理がないように進めております。週に一度のブロックミーティングに限らず、日常的に、情報共有や授業の進捗や指導内容などの確認は当たり前の職員の姿になっています。給食指導等での担当者の交流、ブロック合同授業や算数の授業を中心としたTT授業、教科担任制を含む指導者交流、教育相談体制の充実などこれまでの取組を工夫改善し、

持続可能な実践となるよう進めてまいります。職員にとってはお互いの学級の良さを共有しながら児童理解を深めるとともに指導力の工夫改善につなげ、子供たちにとっても、学校の中に自分を知っている先生や相談できる先生がたくさんいるという安心感につなげていけたらと考えています。教育相談の機会などを通して、いろいろな先生が関わることに子供たちにも意見を聞くなど、今後のより良い取組に生かしてまいります。緑小では全ての職員がそれぞれの立場や役割を通して、全ての児童に関わり、大切に成長を見守る体制作りを進めています。



なかよし班活動を進めています ～みんなが笑顔 みどりの子～

HPでも時折お伝えして



ますが、本校では、「豊かな心を育む指導の充実」のための具体策の1つとして、日頃から異年齢集団での活動「なかよし班活動」の充実に努めています。特に、緑小をより良くするために子供たちが自分たちで意見を出し合い、話し合い、行動を起こす「なかよし班会議」での6年生がリードして話し合う様子は今ではすっかり当たり前の見慣れた姿となりました。本校の良さの一つであると感じています。今年度も、一年生を迎える会で初顔合わせをして、すぐに打ち解けなかよし班が動き出しました。自己紹介やレクリエーションでの和やかな様子は学校全体になかよしの空気を広げてくれました。そして、先日のロング昼休みのなかよし班ごとの共遊の時間。校庭のあちこちから歓声が聞こえてきました。他にも毎日の清掃活動や登校班など異年齢集団での関わりや活動は多くあります。どの場面でも上級生は大活躍です。異学年で交流する活動では、高学年の児童がリーダーとしての経験を重ねることで、自覚や責任が芽生え、自分への自信を高めるとともに、下学年への思いやりの気持ちが育ちます。さらに、その姿を



見る下学年の児童にとっては、上学年の児童に親しみやあこがれ、尊敬の気持ちを持ち、「自分もこうなりたい」という思いや願いをもつことにつながります。実際になかよし班活動の様子を見てみると、高学年はリーダーシップを発揮するとともに、下級生に優しく接する姿をたくさん見せてくれます。同様に、様々な場面で下学年が上学年を慕い頼りにする様子が見られるようになります。どちらもとてもほほえましい姿です。異学年での交流活動の効果は大きいものと考えています。今後も本校では、「異学年交流の効果」を取り入れ、「本校の伝統(よさ)」を受け継ぐために、これからもなかよし班活動の充実を目指していきます。



<安心安全な学校を目指して ~みんなが笑顔~>

安全第一の取組 本日放課後、心肺蘇生法・AED研修を実施しました。石橋地区消防組合の救急隊員の方を講師にお招きし、心肺蘇生とAEDの使い方について演習を交えてご指導いただきました。水泳の授業が近づくこの時期に毎年実施しています。安全に対する学校全体の意識が高揚するとともに、改めて命の重さを実感する時間になりました。これからもご家庭からお預かりしている大切な命を守る役目があるということを肝に銘じ、安心安全な学校づくりに向け努力してまいります。

先日の台風6号の接近による市内全校での一斉休業では、ご理解ご協力いただきありがとうございました。昨今の気候変動により、学校では今後も緊急の対応が必要なこともあると思います。その際は安全第一を判断基準とし決定してまいります。ご不便お手数をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご理解ご協力のほどよろしく願います。

子供たちの笑顔を守るために

学校では毎日子供たちの元気な笑い声が響いています。子供たちの笑顔にエネルギーをもらっています。そんな中、その笑顔と隣り合わせで毎日ヒヤヒヤしていることがあります。日常生活に目を転じてみると、校内にも危険はいっぱいあります。廊下の曲がり角や階段。ピロティのインターロッキングやアスファルト。早く外で遊びたくて、廊下をほぼ全速力ではないかと思えるような勢いで走っている場面が毎日のようにあります。アスファルトで走ったりボールをついたりする子供の姿も見かけます。水筒を振り回したり、はさみやカッターの使い方やヒヤッとする場面もあります。教室ではクラス全体に廊下の歩き方や安全な過ごし方について話をしたり、見かけた職員がその時その場で常に声をかけ指導をしたりしています。注意をするとハッと気付いてスピードダウンすることもできますが、なかなか習慣付きません。または、「ぶつからないから大丈夫」と危ないことを予測することができないこともあります。今は校内で大きな事故は起きていませんが、いつ大事故になりこの笑顔を奪ってしまうかわからないと思うと、これらは命に関わる大きなことと捉えています。子供たちが怪我をすることも誰かに怪我をさせてしまうこともあってはならないと思っています。学校でも全職員で指導を継続してまいります。ぜひご家庭でも一声かけていただくとありがたいです。



これから梅雨の時期を控え、室内で過ごす時間や廊下や階段が滑りやすくなることが多くなります。そろそろ梅雨の季節になるため、4年生に雨の日に室内で楽しく過ごす遊びを考えてもらい、「緑のひろば」に掲示しました。各学級で紹介し、雨の日の室内での過ごし方を指導するとともに、少しでも雨の日を楽しく過ごせるように工夫していきたいと思っています。学校にお越しの際、お時間がありましたらぜひ「緑の広場」もひと目のぞいてみてください。安心安全な学校経営や危機管理体制の構築は学校教育の基盤となるものと考えています。これからもご家庭からお預かりしている大切な命を守る役目があるということを肝に銘じ、安心安全な学校づくりに向け努力してまいります。

<目指す児童像:学び合う子(確かな学力の育成)を目指して ~輝くひとみ~ >

「聴いて考えを深め表現する力」を伸ばしたい 本校では、これまでも「対話」を軸とした学習を通して子供たちの確かな学力の育成を目指して指導の工夫改善を図ってきました。今年度は昨年



度の成果と課題を踏まえ、対話活動を通して深めた考えを相手に伝える表現力を育成するための指導の工夫を研究してまいります。これは、小中一貫教育の三校共通の研究テーマにもつながります。これまで同様、自然に理解を深め合える温かい雰囲気醸成に向けて「学級力」を高める工夫をしたり、子供たちがお互いの考えや思いを聞いたり、安心して伝えたりする双方向のやり取りを充実させられるような授業づくりを目指していきたいと考えております。授業参観の折りなどに、子供たちが学び合っている姿などをご覧いただけたらと思います。

さらに、下野市で推進している『下野市新聞の日』新聞を楽しむ体験事業も子供たちの学ぶ楽しさや知る喜びにつなげたいと考えています。配布された新聞は家庭に持ち帰っておりますので、お子さんが新聞を持ち帰った日にご家庭でも話題にさせていただきますと幸いです。

また、今月は南河内図書館2階に下野市教科書センターが設置されています。一般公開は6月12日(金)~27日(土)<月曜休館>です。お時間に都合がございましたら足をお運びください。

<お礼とお知らせ>・今年度から給食試食会(年間3回)を再開したり、これまで校内のみで実施していた音楽音読集会を保護者の皆様にも参観いただけるようにするなど学校の様子をご覧いただく機会を増やしております。他にも学年行事や授業等のボランティアのご参加なども学校やお子さんの日頃の様子を参観いただく機会の一助となればと考えています。ぜひご理解ご協力の程よろしく願います。

・先日は緑の募金大変お世話になりました。全額公益社団法人とちぎ環境みどり推進機構に納入させていただきます。ご協力ありがとうございました。